学校番号	3033

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	古典探究	単位数	３単位	年次	２年次
使用教科書	「古典探究　古文編」（数研出版）　「古典探究　漢文編」（数研出版）						
副教材等	最新国語便覧（浜島書店），重要古文単語 315（桐原書店），体系古典文法（数研出版），精選漢文（尚文出版），シグマベスト原色小倉百人一首（文英堂），古典の演習２（標準編）三訂版（啓隆社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・長い歴史の中で綿々と受け継がれてきた古典を読むことは、日本文化について学び、伝統を受け継ぎ、グローバルな世界で主体的に生きるための基礎的な素養を身につけることにつながります。「古典探究」ではさまざまな文章を読むことを通して、人間、社会、自然などに対する視野を広げ、考えを深め、発展させていきます。
・文章を正確に理解できるよう、語彙力や文法、句法の基礎知識を修得していきましょう。そのために、必ず予習をして主体的な姿勢で授業に臨み、授業の後には内容を振り返って復習してください。
・古文や漢文を正確に理解できるよう、語彙力や文法、句法の基礎知識を修得してください。授業には必ず辞書、単語帳、文法書を持参し、適宜調べるようにしましょう。
・各自で学習計画を立てて、定期考査に臨んでください。
・授業で扱った作品の異なる章段や、同じジャンルの作品、関心を持ったテーマについて主体的に調べたり、関連本を読んだりするなどして考えを深め、思考したことがらを的確な言葉で表現する力を身につけることに努めていきましょう。読書を通じて、自らの思考が深まり、新たな世界が開かれる喜びも味わってほしいと考えています。本校の図書館も大いに活用してください。

2　学習の到達目標

・古典（古文・漢文）を正確に読む基礎的な能力を養うとともに、すぐれた作品の読解を通じて、古典についての理解や関心を深める。
・伝統的な文化として受け継がれてきた、ものの見方、感じ方、考え方に触れることによって、人生を豊かにする態度を育てる。
・古典を中心とした文化としての言語、多様な言語芸術や芸能などの価値を理解したり尊重したりすることにとどまることなく、自らが我が国の言語文化を継承、発展させていく担い手であることへの自覚を持つ。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
前期	古文編① ・和歌の文化的背景とそれに携わる人物関係を踏まえ、「大江山…」の和歌を軸に、人物の言動や心情を読み取る。 ・古典に対して興味を持ち、話の展開を読み取り、忠見の人物像をとらえる。 ［教材］ 古文編 説話 『十訓抄』「大江山」 『沙石集』「兼盛と忠見」	ａ：古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 ｂ［読］：関心をもった事柄に関連する様々な古典の作品や文章などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。 古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりしている。 ｃ：古文の説話と現代のさまざまな文化との繋がりを理解しようとしている。	課題 定期考査	課題 定期考査	課題
	漢文編① ・漢文訓読に習熟する。 ・故事成語の意味の成り立ちを理解し、故事・逸話の叙述のおもしろさを味読する。 ［教材］ 漢文編 故事 「買履忘度」「漱石沈流」 「華歆・王朗」 「江南橘為江北枳」 文章 「漁夫辞」「桃花源記」	ａ：古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 ・時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めている。 ｂ［読］：文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。 ｃ：故事成語の内容や文化的背景に興味をもち、学習したことを普段の生活の中に生かそうとしている。	課題 定期考査	課題 定期考査	課題

	古文編② ・登場人物の人間関係を正確につかみ、それぞれの心理の動きをたどる。 ・物語中の人物描写などを味わい、作品をとりまく時代の背景、文化的環境についての理解を深める。 ［教材］ 古文編 物語 『源氏物語』 「光源氏誕生」 「小柴垣のもと」	ａ：古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 ｂ［読］：文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 ｃ：作品に興味をもち、物語の内容や作品の背景、登場人物の思いをとらえようとしている。	課題 定期考査	課題 定期考査	課題
後期	漢文編② ・長い文章を読み、漢文の読解に慣れる。 ・さまざまな人物像をとおして、人間の生き方についての考えを深める。 ・『史記』と司馬遷についての知識をまとめる。 ［教材］ 漢文編 史伝 『史記』 「鴻門之会」「四面楚歌」 「項王自刎」	ａ：古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ｂ［読］：文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。 ｃ：時代背景や登場人物に興味をもち、人物の心情や行動を読み取ろうとしている。	課題 定期考査	課題 定期考査	課題
	古文編③ ・物語作品などへの憧れと夢を抱く作者の心情を理解する。 ［教材］ 古文編 日記文学（一） 『更級日記』 「東路の道の果て」 「物語」	ａ：古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ｂ［読］：必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 ｃ：作品に描かれた古人の旅について読み味わうことを通して、当時のならわしについて知り、旅について書かれた日記の意義について考えようとしている。	課題 定期考査	課題 定期考査	課題

	漢文編③ ・儒家の思想を理解する。 ・性善・性悪をめぐる古代思想家の考え方を理解し、人間観形成を助ける。 ・道家の思想を理解する。 ・道家的な生き方と儒家的な生き方の違いについて考える。 ・背景となる諸子百家の状況についての理解を深める。 ［教材］ 漢文編 思想 『論語』「長沮・桀溺」 『孟子』「不忍人之心」 『荀子』「性悪」 『老子』「小国寡民」	ａ：古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 ｂ［読］：文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 ｃ：儒家の思想、道家の思想（老荘思想）の生まれた時代背景や内容を理解しようとしている。	課題 定期考査	課題 定期考査	課題
	古文編④ ・和歌を通じて登場人物の心情を理解する。 ［教材］ 『伊勢物語』「渚の院」 『大和物語』「鳥飼の院」	ａ：古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ｂ［読］：必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 ｃ：作品に興味をもち、物語の内容や作品の背景、登場人物の思いをとらえようとしている。	課題 定期考査	課題 定期考査	課題

４　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準［ｂ］について…括弧内には［　話／聞、書、読　］のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　　）時間

・読むこと　…　（　１７５　）時間